

心房細動の塞栓症予防のために経皮的左心耳閉鎖システムを用いた治療を受けられた患者さんへのお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年8月19日～2029年3月31日

〔研究課題〕 心房細動の診療・予後調査のための多施設共同レジストリ研究

〔研究目的〕

心房細動を有しており、左心耳閉鎖術を施行された患者さんの（1）医学的身体状況と（2）各種検査の結果を経時的に調査させて頂き、これをデータベースとして情報を収集することによって日本の心房細動の脳梗塞予防の治療の進歩、ひいては国民の福祉健康の増進に寄与することを目的としています。

〔研究意義〕 本研究の意義は、日本における経皮的左心耳閉鎖システムを用いた治療が適切に安全かつ有効に治療が行われていること、また長期的な経過がどうなっていくかを明らかにすることにあります。

〔対象・研究方法〕 2019年11月5日以降に非弁膜症性心房細動で経皮的左心耳閉鎖システムを用いた治療を当院で受けた、全ての方。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院、慶應義塾大学病院（主機関）、豊橋ハートセンター、新東京病院、小倉記念病院、仙台厚生病院、湘南鎌倉総合病院、済生会横浜市東部病院、岸和田徳洲会病院、近畿大学病院、富山大学附属病院、東海大学医学部附属病院、札幌東徳洲会病院、聖マリアンナ医科大学病院、三井記念病院、名古屋ハートセンター、済生会熊本病院、倉敷中央病院、榊原記念病院、岐阜ハートセンター

〔個人情報の取り扱い〕 本調査は、個人情報の取り扱いを含めその実施にあたっては帝京大学の倫理委員会の承認を得ております。また、データはID化され、統計的に処理しますので、調査の集計や学会発表等にあたっては個人が特定されることは絶対にありません。データの管理、保管は厳重に行い、研究終了後は、データおよび資料はすべて廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部附属病院 循環器内科 准教授 渡邊雄介

研究分担者：帝京大学医学部附属病院 循環器内科 助教 日置紘文

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）〔内線：30416〕